

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和7年6月17日(2025.6.17)

【公開番号】特開2023-88929(P2023-88929A)
 【公開日】令和5年6月27日(2023.6.27)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-119
 【出願番号】特願2023-36734(P2023-36734)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 33/00(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

C 0 3 C 17/30(2006.01)

C 0 9 K 3/18(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 33/00

B 3 2 B 27/00 1 0 1

C 0 3 C 17/30 A

C 0 9 K 3/18 1 0 4

【手続補正書】

20

【提出日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明基材と、前記透明基材の表面上の防曇膜と、を備え、
 前記防曇膜は、吸水性ポリマーを含み、
 前記防曇膜は、25 の水に24時間浸漬させて前記水から取り出し、前記防曇膜から鉛
 直方向下方に60mm離間させて配置した90 ~ 100 の水から発生する水蒸気に前
 記防曇膜を30秒間曝す試験を実施したときに、前記水蒸気に曝された前記防曇膜の前記
 表面に透明な連続膜が形成されるように、前記表面の親水性を向上させる成分と、前記防
 曇膜の耐水性を向上させるシランカップリング剤に由来する架橋構造と、をさらに含む、
 セキュリティカメラ用防曇膜付き透明物品。

30

【請求項2】

前記透明基材は、フロートガラスであり、前記防曇膜は、前記フロートガラスのボトム
 面に形成されている、請求項1に記載のセキュリティカメラ用防曇膜付き透明物品。

【請求項3】

40

前記透明基材は、セキュリティカメラのレンズを収容する空間に接する凹面を有する、
 請求項1に記載のセキュリティカメラ用防曇膜付き透明物品。

【請求項4】

カメラと、
 前記カメラのレンズの前方に配置された、請求項1 ~ 3のいずれか1項に記載のセキュ
 リティカメラ用防曇膜付き透明物品と、を備えた、
 セキュリティカメラ。

50